

議 事 録

会議の名称	令和元年度 第2回茨木市人権尊重のまちづくり審議会
開催日時	令和2年2月21日（金） 午後2時00分～3時30分
開催場所	茨木市役所 南館3階 防災会議室
会長	今西 幸蔵
出席者	今西 幸蔵 熊本 理抄 秋吉 直喜 岩本 賢三 長田 佳久 尾山 洋恵 檜本 佳子 柴原 浩嗣 森 智子 安田 美千代 山田 ひろ美 (11人)
欠席者	稲田 勲
事務局職員	上田市民文化部長 松山市民文化部長兼人権・男女共生課長 平野人権・男女共生課参事兼啓発係長 源本人権・男女共生課人権係長 和田人権・男女共生課主幹兼豊川いのち・愛・ゆめセンター館長 玉里人権・男女共生課主幹兼沢良宜いのち・愛・ゆめセンター館長 奥田人権・男女共生課主幹兼総持寺いのち・愛・ゆめセンター館長 藏所人権・男女共生課人権係職員 (8人)
開催形態	公開（傍聴人 なし）
議題（案件）	(1) 人権施策推進の取組について (2) その他
配布資料	(1) 「いのち・愛・ゆめセンター」に関する市の方向性と取組について (2) みんなのお泊まり訓練の実施 (3) 外国人サポート事業 (4) 第2次人権施策推進計画の見直しスケジュール（案） (5) 第5次茨木市総合計画後期計画概要版（抜粋） (6) 大阪府人権尊重の社会づくり条例リーフレット (7) 大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例リーフレット (8) 大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例リーフレット

（順不同、敬称略）

発言者	内 容
	<p style="text-align: center;">開会</p> <p>事務局 本日は、お忙しいなかご出席いただき感謝する。 本日は、委員11名に出席いただいている。 議事進行は茨木市人権尊重のまちづくり審議会規則第5条第1項の規定により、会長に務めていただく。</p> <p>会長 それでは、審議会を開催する。 本会議は原則公開の決定をいただいている。本日の傍聴希望者はいるか。</p> <p>事務局 本日、傍聴希望者はなしである。</p>
	<p style="text-align: center;">案件(1) 人権施策推進の取組について</p> <p>事務局 ＜「いのち・愛・ゆめセンター」に関する市の方向性と取組について、みんなのお泊まり訓練、外国人サポート事業について説明＞</p> <p>会長 忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>委員 在留資格は2019年4月実施されていると理解してよろしいか。 もう1点に関しては、豊川いのち・愛・ゆめセンターのお泊まり訓練であったように、個別の避難計画の作成は大事なことではあるが、すぐデリケートになるため、実施にあたってどのような準備等進めるのか。</p> <p>事務局 2019年4月に新たな在留資格が創設されている。個別避難計画はとてもプライバシーに関わるような内容である。 平成30年の訓練でも、個別避難計画を作成し、実施したが、その計画には障害の内容であったり、家族構成等が入ってくる。 同じ避難する立場として、少しでも支えが必要な人と、少しでも支えができる方、そういった方々が協力し合うためには、情報共有が必要だということを支援が必要な方に理解してもらった上で実施している。 手続き的には個別避難計画を書面で作成し、情報共有することの承諾欄を設けている。 頭で、理解できるような形で研修等をきちんとした上で、やっていく。</p> <p>会長 少しデリケートな問題もあるので、慎重な対応で、検証も含めて実施いただきたい。</p>

発言者	内 容
委員	<p>上手く進められるとよいと思う。</p>
委員	<p>外国人サポート事業について、必要な言語の通訳者を通してということだが、今通訳者が何言語で何人ぐらいいらっしゃるのか。どのぐらいのニーズになるのか現状を教えてください。</p>
事務局	<p>通訳者を介しての相談は、来年度の事業として考えているため、現時点では日本語での相談となっている。</p>
委員	<p>来年度は何名ぐらいの通訳者でスタートされるのか。また、言語がどのぐらいに分かれているのか。</p>
事務局	<p>来年度以降だが、多言語での対応、相談支援の対応を考えている。 窓口で外国の方が相談に来られた場合、文化振興課で登録しているボランティアの方をお願いして、窓口へ行っていただくということを愛センターで実施することを考えている。 正確な数字を持ち合わせていないが、約三、四十名おられたような記憶である。 ただ、すべての言語の対応は難しいため、事前に予約をいただいて、来ていただく。大まかな相談内容を事前に聞かせていただいてから対応する予定である。</p>
委員	<p>まずお泊まり訓練について。 非常に面白い発想だと思っている。非常時、一番問題になるのは、顔が見えないと救助ができないということである。 どこかで誰かと顔を合わせているほど、救助がしやすい。 先般の地震の時、私どものマンションで、停電があった。 そうすると、11階から、下まで買い物に降りる時も水を運ぶときも、階段を使うことになる。 75歳以上の高齢者で独居の世帯が、全部で30数世帯ある中で、その人達にはとてもじゃないけどできないが、誰がフォローするのか。 同じ階で顔が見えてる人は手伝ってあげるよ、なにかあったら言ってね、やってあげるよという話になる。ところが、なかなかその情報が共有化できてない。 民生委員もいろいろご苦労されてると思うが、個人のプライバシーの問題があるため、どこまでオープンにするのか、お互いに情報共有化するのか。しかし、非常時に情報がないということは、何もできないことと一緒</p>

発言者	内 容
	<p>である。</p> <p>だから、そのところの基本的な考え方、プライバシーの問題と、そういった基礎事項をどこで共有化しておくか。</p> <p>例えば、民生委員の段階で共有化するのか、あるいは自治会の福祉委員会のようなグループの中で共有化するのか。</p> <p>方向付けを検討しておいたほうがいいのではないか。</p> <p>もう1点は、今回、ペットをお持ちの方の避難の話があるが、避難所の中で、ペットをきちんと一緒に避難をさせるような対応ができるかどうか。</p> <p>犬もいれば、猫もいるし、小鳥がいるかもしれない。</p> <p>支援が必要な人たちが、周りにいるときに、ペットも一緒に避難ができるか、環境面のこともあるため、それについてはいかがか。</p> <p>それから、外国人サポート事業について、具体的な実態をどこまで把握されてるのか。</p> <p>例えば、人口としての把握の仕方もあるかもしれないし、教育委員会の中で小中学生、高校生ぐらいまでの就学児童の人数を学区ごとにするのとどのくらいいるのかということ把握されて、それに対してどういう対応を考えているのか。たまたま沢良宜だけで実施するのか。</p> <p>同じ6年生だけで7、8か国の外国の人達が10数人集まる学校もある。</p> <p>同じ小学校でも対応の仕方も当然変わってくる。</p> <p>様々なサポーターを考えるのもよいが、逆に言えば、各国ごとのサポーターを考えようとすればとてもじゃないがお手上げになる。</p> <p>本事業が想定する外国の人達がどの程度どの地区にいて、そこに対してどうするのかという絵を描いているのか。</p>
会長	<p>委員自身の体験から、顔が見えるということの必要性、それはこのまち全体の誰1人取り残さない社会づくりということだと思う。</p> <p>プライバシーの問題もいろいろと難しい問題となるが、いかがか。</p>
事務局	<p>どういう単位で、どういう人達が個人情報把握すればよいのかということであるが、前回の訓練でも、セーフティネット会議という単位で考えていた。</p> <p>セーフティネット会議は地域のつなぎ役であるCSWに中心に立っていただき、そこに行政の地域福祉、生活保護、保健医療、相談支援であったり、地域の民生委員で構成されている。</p> <p>その中で、個人情報に対するの取り扱いには民生委員も含め、公務員と同じ扱いのため、守秘義務を遵守することが担保されている。</p> <p>そういった、守秘義務を守れる枠組みで避難訓練を実施することが適当と考えるので、セーフティネット会議をベースとして訓練をしていく予</p>

発言者	内 容
委員	<p>定にしている。</p> <p>障害者と高齢者では対応の仕方が違う。 高層マンション等で居住している場合、何かあったときに、誰がどこで何をしてあげるのかをその時に考えようとしても無理である。 だから、基本的な情報は自治体で、もう少し細かい情報は民生委員が把握しているというような、個人情報の取扱いについて検討が必要ではないか。</p>
会長	<p>ペットの管理についていかがか。</p>
事務局	<p>地震当時、沢良宜いのち・愛・ゆめセンターに勤務しており、ペットを連れて避難されてきた方を受け入れた。 ペットを連れての方が一旦学校に避難しようとしたが、ペットは受け入れできないような雰囲気だったため、しばらく車中で過ごされたケースもあったと聞いている。 沢良宜愛センターの近くだったため、沢良宜愛センターで避難できるかなという話になり、ペットについては玄関のホールでケージに入れていただき、家族は部屋で避難いただくというような対応となった。 今後のペットの受け入れについては、危機管理部局を中心に、どうしていくのか検討していると聞いている。</p>
委員	<p>あわせて、不特定多数の人が避難されたときに、そういった動物に対するアレルギーであるとか、様々な問題が発生する可能性がある。 そういうことも踏まえて、ペット帯同での避難をどうするのか、盲導犬といった特定の状況については、個別に対応する等、どこかで線をひかないと問題があるのでは。</p>
委員	<p>今ここで議論するのは大きな危機管理的な避難訓練ではなく、やはり個別避難計画を作成した人をどう考えていくのかということの問題になると思う。お泊まり訓練は地域全体でするのか。</p>
事務局	<p>災害が起こったときに、愛センターに避難される方が対象である。</p>
委員	<p>普通の避難訓練とお泊まり訓練の違いはどこにあるのか。 避難訓練を2回するのではなく、お泊まり訓練を1回することで、本当にお互いの連携が図れるのか検討いただきたい。 外国人、ペット等配慮することは他にもある。例えば乳幼児のいる単身</p>

発言者	内 容
	<p>の方等、そういった方を洗い出してほしい。</p> <p>外国人サポート事業について、沢良宜の中で、外国人相談の対象者を地域では実際にどれぐらい見られているのか。</p> <p>茨木市として、今後どれぐらいの方を対象に考えている事業なのか教えてほしい。</p> <p>本市において相談できる窓口が少ないということであれば、現状何ヶ所あるのかわかれば、次回から考える役に立つと思う。</p> <p>また、災害も含めいろんな地域との繋がりという意味で、スマートフォンを使って外国人とコミュニケーションできるような事業も考えてみてはいかがか。地域としてつながれる、言葉を介在してつながれる方法をいろいろ考えていただいたり、それから困ってる話の中で出てくる単語の学習をしたりすると人が集まるのでは。</p>
事務局	<p>令和2年1月末時点で人口が28万2,338人で、外国人については3,643人のため、1%を超えているぐらいの数字となっている。</p> <p>中国の方が一番多く、韓国、ベトナム、フィリピン、インドネシアと続くと聞いている。</p> <p>地域ごとについては数字はもち合わせていない。教育委員会では学校ごととか、支援の必要な方の数は把握されていると思う。</p>
会長	<p>委員の意見を検討いただきたい。</p>
委員	<p>この二つの事業で議論されているところを、少し私が知ってるところとか、参考になればと思う。</p> <p>まず災害に対応するお泊まり訓練について、北部地震の時の実態調査をしていたダイバーシティ研究所が、災害時の施設運営の管理者の養成をしている。</p> <p>東日本、熊本地震といったデータを集めながら、避難所の運営としてどのような観点や何が必要なのか、多様な要望に対応する方法があるのか集約されている。北大阪の災害調査や避難所の調査データも集約され、避難所の運営を教訓化しているので、参考にできればと思う。</p> <p>一つの場所ですべての課題に対応するのは難しいと思うので、災害支援に関する情報が集約されているものを参考にすることが必要である。</p> <p>ただし、民間で実施するため、講習を受けようとする有料になるなど、体制の整備が必要になる。</p> <p>また、個人情報はどうするか問題となる。私の住んでいるところでは、災害時に、支援が必要な方を登録し、書類は封筒に入れておくという方法を採用している。使うときに開けるが、事前に支援計画が作成できないと</p>

発言者	内 容
	<p>いう点もある。</p> <p>個人情報収集してはいけないのではなく、本人が望まない情報を収集してはいけないということである。</p> <p>個人情報は人命救助や人の幸せに使っていくということが個人情報保護法の基本であるため、こういう災害の場合に、お互いに支援するために、自治会等で個人情報をどこまで登録するか整理する必要がある。</p> <p>民生委員も災害が起こったからといって、自治会等にその個人情報を知らせるわけにはいかないところがあると思う。</p> <p>個人情報の基本は本人同意なので、本人が自分の情報をどれだけ、どの人に提供するのか、提供される側はどういう場合にどのように使うということをきちんと明らかにして、承諾いただくことが必要だと思う。</p> <p>本人の意思で決めるところが、人権の観点からも基本なので、そこを基本に考えていただけたらいいと思う。</p> <p>ただ、本人同意は、状況をきちんと説明しないと同意もしにくいので、そこは検討する必要がある。</p> <p>手間はかかるが、個人情報は誰がどういうふうに確認し、誰が見るのかをルール化する必要があると思う。</p> <p>次に、沢良宜で行われる外国人のサポート事業について、なかなか多言語に対応とか、地域でやるのは難しいところがあると思う。</p> <p>大阪府内でも、多言語情報の相談を受けている市町村は多くない。</p> <p>そのため、大阪府の多言語相談を利用しているところもある。</p> <p>できるところはどこまでなのかということと、すべて言葉が通じなくても、地域の中で理解とか、こういうところはこうしたらよいか、困ったときには、愛センターに来てもらったら何とかかなるとか、その地域でできる役割が何かを考えていく必要がある。</p> <p>その意味では識字・日本語教室があるのは非常に大きな役割だと思う。</p> <p>大阪府内でも識字・日本語教室はあるが、その中で様々な相談事とか、困ったことも出てくる。日頃行ってなくても何かあったら、あそこに行けば同じように困ってる人もいるし、話ができるというような場所として愛センターがあって、識字・日本語教室という場所があるということをお大切にできればと思う。それは、地域が担える役割だと思う。</p> <p>二つの事業は本当に大切な事業である。市全体でやれることと、地域ならではのやれること、やり方とかを、事業を進めながら整理できたらいい。</p> <p>すべて地域でするのは無理で、逆に地域だから日頃の様子があって、もしものときに、行けるところが欲しいという要望はあると思うので、そういうところを整理しながらできればと思う。</p>

発言者	内 容
会長	<p>とても参考になる意見、大きくは三ついただいた。</p> <p>一つ目が、民間機関との連携協力を考えていくことが1点。</p> <p>もう1点は、プライバシーの問題。プライバシーとは何か、個人情報とは何かと、それからご本人の同意の問題をどう扱っていくのか。ここは研修しなければならないと思う。</p> <p>3点目は、市全体もあるが、地域でできることは何かを考えていくことの大切さである。</p> <p>特にその中で、識字・日本語教室について私も30年ほど前に教室に関わったことがあるが、本当にいろんなことが学ぶことができ、まさに生涯学習の現場そのものだという、非常に重要なことと思っている。</p> <p>日本の世界に誇れる一つの大きな教育学習の場であると思う。</p> <p>地域で活用していくということも含めて、今後検討していくことを参考意見として教えていただいた。</p>
委員	<p>お泊まり防災訓練を実施することは大変素晴らしい。私も毎年地域で、防災訓練を一緒になってやっている1人だが、なかなかお泊まりまで訓練しようというところまでは至っていない。実際災害が起きると、お泊まりはたちまち発生する。これを事前に地域住民の方と訓練しておくことは大変重要なことだと思う。</p> <p>地域の人たちと相談されて、取り組まれるということは素晴らしい。ぜひ良い結果を残していただいて、全市的展開が図られればと期待している。</p> <p>実行するにあたっては実施プランが必要だと思う。きめ細かい地域との連携、役割分担、タイムスケジュール等様々な問題が内在している。</p> <p>どう克服していくかということも回を重ねて調整しておく必要がある。</p> <p>ペットをどうするのかという議論は続いており、賛否両論ある。</p> <p>しかし、やはりペットも大事な生き物で、家族や子どものようにして扱っておられる方もいる。貴重な生き物を粗末に扱えないということがある中で、だからといって避難所ではアレルギーの問題等で困るという話もある。</p> <p>この辺りをどうしようかということも、私どもの小学校区では課題で、打合せのたびに結論が出せずにいる。</p> <p>お泊まり訓練のプランは大変重要な課題なので、ぜひ成功してほしい。</p> <p>実行プランをつくるにあたって何か、私の知恵や意見でよければ使ってもらえればと思う。</p> <p>外国人サポート事業について、28万人の人口に対して、外国の方は3,500人ぐらいいらっしゃるとのことだった。</p> <p>私たちの地域でも結構外国のお子さんをお見かけする。</p> <p>不自由しているのかなと思いつつもサポートができていない状況であ</p>

発言者	内 容
事務局	<p>り、全市的展開をどう考えるべきか。日常的に困ってることをどうサポートするのか。言葉が通じないことも含め、大変重要なことに取り組もうとしている。愛センターだけでなく、全市的にどう展開していくのか。</p> <p>外国人サポートとお泊まり訓練について、全市的にどう展開していくのかについて、現在、外国人サポート事業は、いのち・愛・ゆめセンター3館でやっている識字・日本語教室が大きなきっかけになっている。</p> <p>お泊まり訓練についても、一昨年の震災の時に、75ヶ所の避難所があり、そのうち、最後まで残ったのが愛センターという中で、やはり愛センターのそういう避難所機能、人権、福祉の拠点というところの機能を、訓練という方法を取りながら、充実させていきたい。</p> <p>そのため、市域全体と比較すると、普通にやってる訓練とは違い、お泊まりでの訓練を実施しようとしているが、これは、今までやってきた訓練の中で、地域の方からお泊まりもやってみてはどうかというご意見もあったことを踏まえての実行と受けとめただけであればと思う。</p> <p>外国人サポート事業もお泊まり訓練も、モデル的にまず愛センターで始め、課題等もそこで出てくるので、そういうところも踏まえながら全市的な展開も検討できればと考えている。</p>
副会長	<p>愛センターが実施する意味を強調すると、お泊まり訓練についてはぜひ防災と人権というところを前面に打ち出していきたい。</p> <p>台風19号のときに台東区で路上生活者が避難所から排除されたり、各災害地で、セクシュアルマイノリティの人達の差別事例などが多々上がっている。</p> <p>そうしたときにこそ差別が顕在化をしてくる。ぜひ防災と人権を前面に打ち出していきたい。</p> <p>二つ目として、資料の令和4年度の最後のところに振り返り報告会というのがあるが、先ほど委員もおっしゃったように、全市的な取り組みとして、答申のときにも愛センターの各施策との連携を記載しているので、ぜひ最後に防災施策に対し愛センターから見えてきた提言などを入れていただきたい。お泊まり訓練から見えてきたものをどのように市に提言をしていくかということを入れていただきたいというのが2点目。</p> <p>3点目として、外国人サポート事業について、これは全市的なことにもなるかと思うが、例えばこの日常的なことはもちろんであるが、今回のコロナウイルスのように、緊急的なことに対して、どのように対応していくかも検討いただければと思う。</p> <p>まずは外国人に情報が全く入っていないということと、実際にもう学校現場では中国人の子供たちが差別やいじめに遭っているという事例が起き</p>

発言者	内 容
	<p>ている。先ほどの人口でも中国籍の人が最も多いということなので、そうした緊急の相談ということに対して、どのように対応していくのかということも今後検討が必要かと思う。</p> <p>チラシそのものを多言語化するとか、ネットをどういうふうに使っているのかのようなことも必要になってくると思うので、検討をお願いしたい。</p>
会長	<p style="text-align: center;">案件(2) その他</p> <p>意識調査等について、大阪府の人権に関する条例について、茨木市総合計画に関する変更点の説明と3点について事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p><「第2次人権施策推進計画の見直しスケジュールについて」、「大阪府の人権に関する条例について」、「茨木市総合計画に関する変更点」を事務局から説明></p>
委員	<p>人権施策推進計画の見直し、スケジュールについて、今回見直されるのは、この5年での社会状況の変化の中でということだと思う。</p> <p>意識調査の内容、調査項目を検討していくことが必要だと思う。大きな変化として、情報化が非常に進んでいる。</p> <p>先ほど、私たちも知らないうちに個人情報を取られているという話をしたが、やはり情報化の中で、部落差別にしても、ヘイトスピーチにしても、差別が広がっている。SNSの中でも、本人の同意のない写真とか、そういうものが拡散されている。子どもの性犯罪に繋がったりもするので、大阪府警は、援助交際等をチェックするサイバーチームをつくり、それを未然に防いでいる。インターネット上での差別の状況やインターネットの利用状況をこの意識調査でどのように見ていくかという検討が必要である。</p> <p>インターネットで差別を広げているのは、若い人なのか、社会人なのかについて、インターネットを使っているのは子どもや若者が多いので、若者が広げているのではないかと思いきや、そうではなく、日頃あまり使っていない大人の方が発信していると言われている。</p> <p>そういうことも意識調査の中で、例えばインターネットをどれだけ使っているかという項目を少し入れておくことによって、いろんな状況がわかるのではないか。</p> <p>子どもは、学校できちんとSNSや、スマホの使い方講座を受けている。情報化の観点でもう少し調査を検討したい。</p> <p>もう一つは、いつも意識調査の中で、暮らしぶりという項目が入っている。暮らしぶり与人権意識がどう関連するかは、前回クロス分析していなかったと思うが、そういうのは大事なかなと思う。</p> <p>生活の格差が大きくなっている中で、例えば、必要な人に必要な支援を</p>

発言者	内 容
	<p>することも、それは特別だとか、ヘイトスピーチでも、在日韓国朝鮮人に対して特別な条件があるみたいになっている状況がある。</p> <p>そういう差別があつたりするので、やはり生活の状況がどんなふうになっていて、それがいろんな人権意識等に影響しているのかは確認が必要。</p> <p>人権啓発で人権の大切さはずっと言っているが、自分たちの生活問題はどうかしてくれるんだ、とか、自分たちの不満はどうしてもらえるんだということが、結局、次の差別に繋がってしまうところがあるので、そういう暮らしぶり与人権意識との関わりをぜひ入れていけたらなと思う。</p> <p>意識調査はやはり調査項目をつくるところが勝負かなと思う。</p> <p>審議会でもいろんな議論ができればと思う。</p>
会長	<p>インターネットの問題と暮らしぶりの問題について、意識調査を作る段階から、ご検討いただきたい。</p>
委員	<p>調査項目について、リストアップされた段階で、この審議会でお示しいただき、実際の意識調査に移っていくという手順か。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p> <p>どれぐらいの調査数にするかは未定だが、基本的には2,000人ぐらい予定している。</p> <p>来年度、審議会は3回程度を予定しているが、3回だけでなく、各委員の皆様個別にご意見も伺いながら調査項目を整理できればと思っている。</p> <p>意識調査が目的ではなくて、次の計画の素案を見直すための調査なので、しっかりと調査項目について、意識の変化がわかるようとらえていきたいと思っている。</p>
会長	<p>およそ30万の市民がいて、サンプル数が2,000というのはかなり精度の高い調査になると思う。作成段階において、全委員にいろいろ相談いただければありがたい。</p>
委員	<p>女性活躍推進や性的マイノリティに関する理解促進に努めるということだが、現状はどうか。</p> <p>ぜひ調査項目に入れていただき、新しい評価をいただければ。</p> <p>意見としては活躍が進んでいるということだが、本当に政治家や管理職とか、いろんなところで動かしていくためには、女性の活躍は意識的に取り組んでいかななくてはいけないと思っている。ぜひ現実を教えてほしい。</p>

発言者	内 容
事務局	<p>女性活躍、また、性的マイノリティについて、男女共同参画計画の策定にあたっての意識調査も令和2年度に同じスケジュールで進めていく。場合によっては、女性活躍、性的マイノリティについては男女共同参画計画の方で意識調査を実施する可能性もあるが、現状どういう意識を持っているのか把握したいと思っているので、委員の意見も踏まえて、意識調査を実施していきたいと考えている。</p>
委員	<p>男女共同参画の議論はここではなく、男女共同参画審議会があると思うが、茨木市の方針としては性的マイノリティや性自認及び性的指向の課題は男女共同参画社会づくりの中に位置付けて取り組まれるということか。</p> <p>大阪府は、性的指向及び性自認の理解増進条例として、担当も人権が担当している。</p> <p>大阪府内であれば泉南市、兵庫県であれば宝塚市は、男女共同参画の条例の中に、性的マイノリティの課題も入れて推進しようというように、両方の流れがあると思っている。</p> <p>どちらがいい、どちらが進みにくいかというのはあるかもしれないが、私は、男女共同参画の取組みの方が、差別の禁止とか、そういうことを明確に言っており、一步進んでいるので、その中で、性的マイノリティの問題とかも位置付けていくほうが、進みやすいのではないかと感じている。国も、性的マイノリティの問題は理解増進なのか、差別の禁止なのかというところで対立して議論が進んでいない。大阪府のほうは理解増進として条例を作った。</p> <p>男女共同参画では、そもそも性による差別を禁止するということが入っていると思うので、その流れで進めていくほうが理解増進も差別の禁止とかいうことも、取り組んでいけるのではないか。</p> <p>そういう意味では、茨木市のこの位置付けで取り組むほうがいいのではないかと考えている。</p> <p>私どもの人権相談でも、自分の性自認のことを職場に相談したが、なかなか対応してもらえないという相談がある。逆に相談をされたが事業所としてはどうすればいいのかという相談もある。</p> <p>また、性自認のことで自分の子どもが悩みを家族の中で言ったとき、母親は理解するけども、父親はがんとして理解しないということもある。</p> <p>ここはジェンダーも関わってくるところであるが、そういった相談があるので、どういうふうに位置付けて取り組んでいくかが非常に大事だと思う。</p> <p>そういうことも次の男女共同参画計画の検討の中で議論されたらいいのではないか。</p>

発言者	内 容
事務局	<p>男女共同参画、性的マイノリティも含めて、茨木市の場合は大きなフィールドとしてローズWAMという、館がある。</p> <p>実際の支援であるとか相談であるとか、そこはローズWAMがあるので、そっちでやっていくのかなと思っている。</p> <p>大きな方向性を示すのは、男女共同参画という側面もあるが、人権もあるので、両方とも位置づけ、同じようなベースを持ってやっていくというのがスタンダードかなと思っている。</p> <p>その中で、茨木市の施策としてやりやすい方を選択していけばいいと思っているので、今、人権に位置づける、或いは男女に位置づけるということとは明確にお答えできない。</p> <p>今度の計画を考える中で、しっかり見定めていきたい。</p>
事務局	<p>来年度の審議会について、3回程度の開催を予定している。</p> <p>第1回の会議日程が決まり次第、案内する。</p>
会長	<p>すべての議事が終了した。これにて閉会とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>